

1 アンケート調査概要

- ◆ 目的 : 若者に関する計画の策定に向け、若者の置かれている状況や考え等を把握するため実施
- ◆ 対象、方法 : 市の住民基本台帳において満15歳(高校1年生)～39歳の方の中から6,000人を無作為抽出、無記名方式
- ◆ 主な内容 : 就労状況、結婚状況、抱える問題や悩み、自己肯定感や将来への希望、居心地の良い場所や相談相手 など
- ◆ 実施期間 : 5月7日発送、5月20日回答期限
- ◆ 回答状況 : 回答者数: 1,849人、回収率: 30.8%

2 調査結果まとめ(抜粋)

※『』は「どちらかという」「やや」などを含む、末尾に資料2-2の該当ページを記載

(1) 将来の希望	●自分の将来に明るい『希望がある』63.4%、『希望がない』35.2% (P3) ●年齢が若いほど「希望がある」割合が高い (P3) ●社会生活や日常生活を円滑に送れない経験がある人は『希望がない』割合が高い (P4)
(2) 人生設計 (ライフプラン)	●人生設計について『考えたことがある』62.9%、『考えたことがない』24.1% (P5) ●18・19歳では、『考えたことがある』が7割以上で、他の年代に比べて高い (P5) ●将来への希望がある人は人生設計について『しっかり考えたことがある』割合が高い (P5) ●人生設計について「学ぶ機会があった」人は「将来への希望がある」割合が高く、「学ぶ機会がなかった」人は「希望がない」割合が高い (P6)
(3) 自己肯定感・有用感、孤独感	●自身の状況に『あてはまる』かでは「自分の親(保護者)から愛されていると思う」(93.7%)が最も高く、「自分には自分らしさというものがある」(84.2%)、「今の自分が好きだ」(68.6%)と続き、『あてはまらない』では「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」(36.8%)が最も高く、「自分は役に立つと感じる」(30.8%)、「今の自分が好きだ」(30.7%)と続く (P7) ●孤独を感じる事が『ない』58.2%、『ある』41.1% (P10)
(4) 居場所	●ほっとできる、居心地の良い場所になっていると思うかでは「家庭(実家や親族の家を含む)」(89.3%)が最も高く、「自分の部屋」(82.5%)、「商業施設(カフェ、喫茶店、ショッピングモールやスポーツクラブなど)」(56.3%)と続き、『思わない』では「学校(卒業した学校を含む)」(44.7%)が最も高く、「職場(過去の職場を含む)」(41.1%)、「友人、知人などの家」(37.0%)と続く (P11) ●「自分の部屋」「家庭」「インターネット空間」以外の場所(「友人、知人などの家」「学校」「職場」「地域」「商業施設」)を居場所と思わない人は15.7% (P11)
(5) 意見の尊重	●若者の意見が尊重されていると思うかでは「家庭」(62.4%)が最も高く、「学校」(44.7%)、「職場」(31.5%)と続き、『思わない』では「行政」(67.9%)が最も高く、「地域」(61.9%)、「職場」(47.8%)と続く (P13)
(6) 就労	●就労していない人の約9割に就労意向があり、うち1割弱は「就労したいが就労できない」 (P15) ●無職で仕事を探している人の約半数が「仕事があればすぐに就労したい」とし、仕事を探していない人の8割近くが「そのうち就労したい」または「就労したいが就労できない」 (P15)

(6) 就労（つづき）	●無職で仕事を探している人が就労したいのに就労していない(できない)理由は「<u>条件の合う仕事が見つからない</u>」(52.3%)が最も多く、「<u>これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない</u>」(38.6%)、「<u>自分や家族の体調が不安定になっている</u>」(27.3%)と続く (P16) ●20～24歳では、他の年代に比べ「<u>これまでうまくいかず、自信がなく勇気が出ない</u>」の割合が高い (P16) ●現在の仕事について、<u>5割以上が『満足している』</u>とし、『満足していない』は約4割 (P17) ●就労状況別では、自営業等の人は『満足している』割合が高い (P17) ●不満の理由は、「<u>給料が安い</u>」(66.5%)が最も高く、「<u>労働時間が長い</u>」(28.8%)、「<u>やりがいを感じられない</u>」(25.0%)、「<u>責任が重すぎる</u>」(23.5%)、「<u>人間関係が悪い</u>」(21.6%)、「<u>休みが少ない</u>」(21.1%)と続く (P18)
(7) 結婚	●「<u>配偶者やパートナー、恋人がいない</u>」42.1%、「<u>配偶者はいないが、パートナー、恋人はいる</u>」15.6%、「<u>配偶者がいる</u>」41.4% (P19) ●年齢が若いほど「<u>配偶者やパートナー、恋人がいない</u>」割合が高く、10歳代の約8割は「<u>いない</u>」 (P19) ●結婚したいと思うかについては「<u>現在、既に予定がある・決まっている</u>」3.9%、「<u>現在、予定はないが、ぜひしたい</u>」28.7%、「<u>現在、予定はないが、できればしたい</u>」30.6%で、<u>6割以上に結婚の意向がある</u> (P20) ●結婚したいと思わない理由は「<u>結婚するほど好きな人に巡り合っていないから</u>」(40.8%)が最も多く、「<u>結婚にしばらくしたくないから、自由でいたいから</u>」(35.3%)、「<u>結婚生活を送る経済力がないから、仕事が不安定だから</u>」(26.2%)と続く (P21) ●男性は女性に比べ「<u>結婚生活を送る経済力がないから、仕事が不安定だから</u>」の割合が高く、女性は男性に比べ「<u>仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから</u>」、「<u>名字・姓が変わることが嫌・面倒だから</u>」の割合が高い (P21) ●力を入れるべき結婚支援は「<u>独身者の交流の場の提供</u>」(51.2%)が最も多く、「<u>学生や若手社会人が、結婚や子育てを含む人生設計について考えることのできる機会の提供</u>」(37.3%)、「<u>交際に向けた自分磨きの機会の提供</u>」(23.6%)と続く (P22)
(8) 悩み・不安、解決方法	●最大の悩み・不安は「<u>お金のこと</u>」(23.5%)が最も高く、「<u>仕事、就職のこと</u>」(20.0%)、「<u>将来や老後のこと</u>」(13.7%)と続き、その解決方法は「<u>家族、パートナーに相談</u>」(46.4%)が最も高く、「<u>インターネットで解決策を情報収集</u>」(12.8%)、「<u>友達に相談</u>」(8.9%)と続き、問題の解決に動かない(または動けない)ことが多いとした人は17.0% (P23) ●悩みや不安別の解決方法では、「<u>恋愛、結婚のこと</u>」は「<u>友達に相談</u>」、「<u>容姿、体形のこと</u>」は「<u>インターネットで解決策を情報収集</u>」の割合が最も高く、「<u>お金のこと</u>」は他の悩みや不安に比べ「<u>問題の解決に動かない(または動けない)ことが多い</u>」割合が高い (P24) ●「<u>自分の部屋</u>」「<u>家庭</u>」「<u>インターネット空間</u>」以外を居場所としていない人は、そうでない人に比べ「<u>問題の解決に動かない(または動けない)ことが多い</u>」割合が高い (P24)
(9) 困難な状況	●<u>社会生活や日常生活を円滑に送ることができない経験が『あった』</u>40.6%、そのような状況に<u>現在『ある』</u>18.5%で、そのような状態になったときに誰にも相談したくない人は1割弱 (P25、30) ●現在、<u>ひきこもり状態2.0%</u>、<u>ヤング(若者)ケアラー状態9.0%</u>、<u>ニート状態0.3%</u> (P26、28、29) ●ひきこもり状態の人の75.6%に孤立感が『ある』 (P26) ●ケアラー状態にある人の40.1%が社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況 (P28)